

2022年度 第16回全国中学生少林寺拳法大会 代表選考会要項

1. 目的 全国中学生少林寺拳法大会の主旨を受け、身心共に優れた拳士を選出し、代表としての輝かしい活躍を望む。
2. 主催 神奈川県中学校少林寺拳法連盟
3. 日時 2022年5月22日(日) 15時～17時30分まで
15時 受付開始(ロビー)
16時00分 開式
16時00分 第1ラウンド 組演武(男女)
16時50分 第2ラウンド 単独演武(男女)
17時20分 第3ラウンド 団体演武
17時30分 結果発表
4. 会場 **横浜武道館**
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2丁目9-10
5. 競技種目 ・組演武の部 ・単独演武の部 ・団体演武の部
※表彰は男女合わせて行うが、全国への選考は男女別に行う。
6. 競技方法 一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則、全国中学生少林寺拳法大会規則に基づいて行う。詳細は「細則」に示す。
7. 参加資格 神奈川県内の(一般財)少林寺拳法連盟の個人会員(支部・少林寺拳法部・拳友会)である中学生のこと。
8. 参加費 道院拳友会・スポーツ少年団 500円/人 (受付時に支払)
中学校クラブ 1,000円/人 (受付時に支払)
9. 参加申込 別紙に記入し下記にメール送付する **■申し込み期限: 5月14日(土)**
〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 桐蔭学園中等教育学校 本間 慎太郎
e-mail sintah@toin.ac.jp
11. その他
 - 1)全国中学生大会申込みに際しては、本部通達を参照してください。
 - 2)本件に関する問い合わせ等は、上記申し込み先にて対応します。

以上

本選考会に際して提供された個人情報、本選考会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

代表選考会 [競技細則]

(1) 団体演武

- ・出場の組合せは同一所属のみ可とする。
- ・出場者は6名または8名とし、男女混合の組合せは不可とする。
- ・団体演武のみ他の種目と兼ねて出場することができる。
- ・演武構成、演武時間は（一般財）少林寺拳法連盟競技規則による。
- ・使用技は、全国中学生少林寺拳法大会規則により以下のとおりとする。
 - ※実際に演武を行う6名または8名の選手の資格が「見習～3級」の場合
→初段科目の技まで使用可
 - ※実際に演武を行う6名または8名の選手の資格が「3級～二段」の場合
→三段科目の技まで使用可

(2) 組演武

- ・組演武は二人相対とし、三人掛けは不可とする。
- ・出場の組合せは同一所属のみ可とし、男女混合の組合せは不可とする。
- ・演武構成、演武時間は（一般財）少林寺拳法連盟競技規則による。
- ・使用技は、（一般財）少林寺拳法連盟競技規則により以下のとおりとする。
 - ※見習い～4級までは、3級技まで使用可
 - ※3級～1級は、初段技まで使用可

(3) 単独演武

- ・演武構成、演武時間は（一般財）少林寺拳法連盟競技規則による。
- ・使用技は、（一般財）少林寺拳法連盟競技規則により以下のとおりとする。
 - ※見習い～4級までは、3級技まで使用可
 - ※3級～1級は、初段技まで使用可
 - ※級拳士の「紅卍拳」の使用は不可。ただし「龍の形」は「逆小手単演」とみなす。

上記の種目はいずれも重複出場を可としますが、全国中学生大会への出場においては、組演武もしくは単独演武の出場となる為、該当選手には選考会当日に選択をしてもらいます。

(4) 選手の服装・身嗜み・頭髪等

- ※選手の服装・身嗜みについては、大会規則に遵守するものとするが、特に下記の事項については遵守すること。
 - ①頭髪においては、極端な長髪は避け、端正な髪形とする。
 - ②男女共、頭髪の加工（染髪・パーマ等）は一切しないこと。
 - ③女子の髪留めについては、金属・プラスチック製の髪留め、又はリボン等は使用せず、黒又は紺色の髪止めゴムのみ使用を可とする。但し、後ろ髪のみ。
 - ④競技出場中については、眼鏡・コンタクトレンズ（ハードタイプ）の使用は禁止する。使用する際には上申書を当日に提出すること。
 - ⑤ゼッケンについては不要とする。

以上

新型コロナ感染対策について

一般財団法人少林寺拳法連盟による大会開催と運営にともなうガイドラインにそって開催する。

また、細部の各項目については下記の通りとする。

1. 出場選手の体調管理

①大会2週間前からの「健康観察シート*」を作成し、各所属にて保管すること。

必要によって提出を求める。 *フォーマット任意

②大会2週間前からの「行動観察*」をまとめ、各所属にて保管すること。

必要によって提出を求める。

③会場内においても検温を行う。非接触型を用意するが、各所属においても持参すること。

2. 大会運営全般について

①開会式と閉会式等は簡素化する。大会結果のみ発表、表彰は行わない。

②選手の来場時刻と出場時刻を定め、その時間以外の来場は不可とする。

状況によっては失格とする。

③演武終了後は運営委員によってコート内を消毒する。

④会場内においては、マスク着用を徹底する。

⑤会場内にて、水分補給の以外の飲食は取らない。

⑥原則無観客とする。

3. 競技について

①演武の審判は5人制とする。審判はマスク及びフェイスシールド着用をする。

②演武中はマスクを着用せず、有声の気合は無しとする。

③競技の待機中はマスクを必ず着用する。

④応援などの歓声は厳禁とする。

以上